

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年 6月 30日

一宮市長殿



提出者

住 所 488-0826

愛知県尾張旭市大塚町2-13-12

氏 名 大林道路株式会社 尾張営業所

所長

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-771-8407

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大林道路株式会社 尾張営業所(一宮市内の現場)
事業場の所在地	愛知県尾張旭市大塚町2-13-12 (一宮市内)
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合建設業 小分類:舗装工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	947t	全処理委託量	947t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	7t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	940t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 別 紙 〕

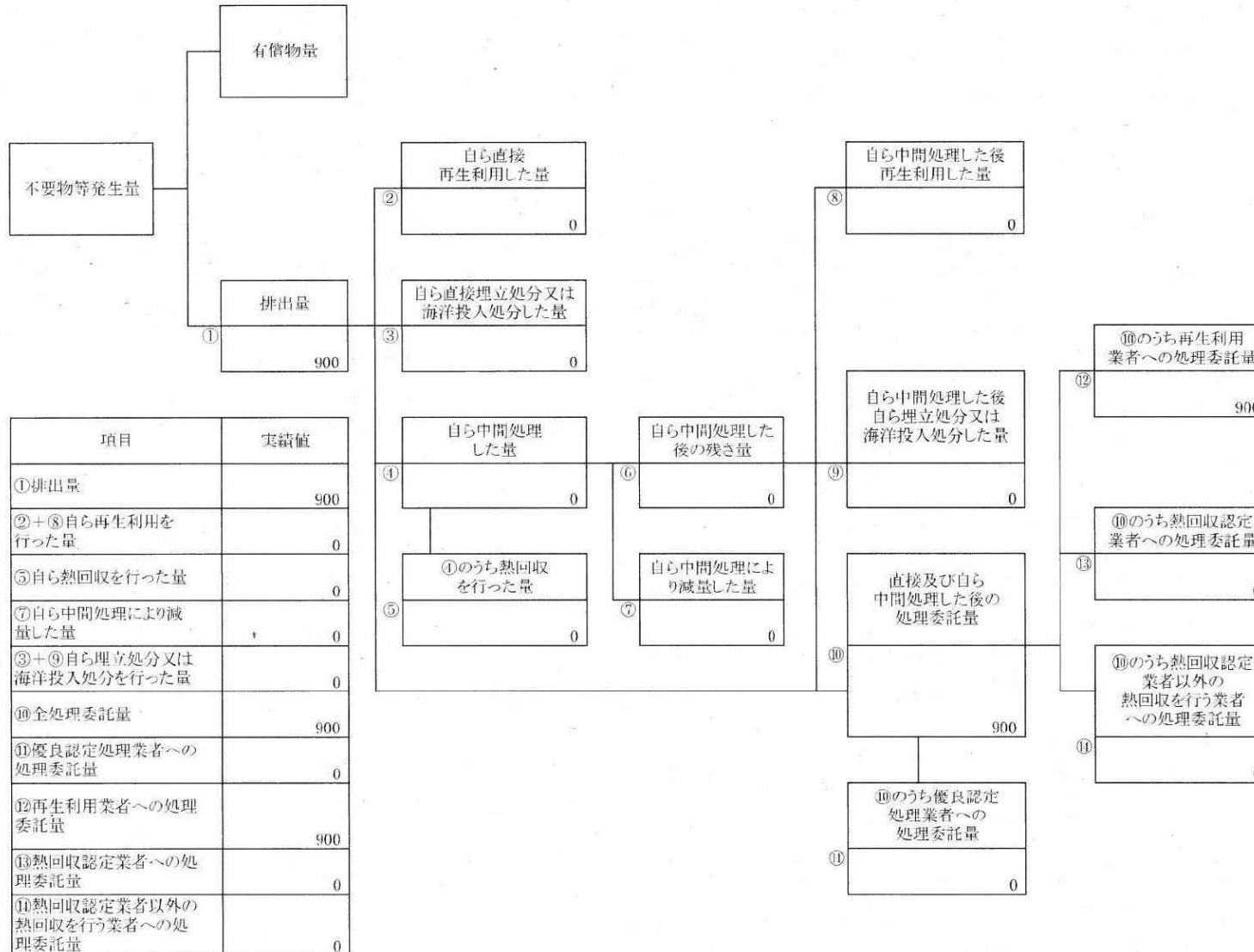
出 発 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を搬送する事業場を統括的に管理する実店舗の名称	産業廃棄物を搬送する事業場を統括的に管理する実店舗の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
愛知県尾張旭市大塚町2-13-12	大林建設株式会社 尾張営業所	大林建設株式会社 尾張営業所		052-771-0407	052-770-8234	

産業廃棄物の種類		計 算 の 実 施 状 況										⑪＝①＋②＋③＋④＋⑤＋⑥＋⑦＋⑧＋⑨＋⑩＋⑪＋⑫					⑫の合計	⑬の合計					
		①搬出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち、回収 を行った量 (t)	⑥④のうち、再生利 用した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により処理した量 (t)	⑧⑦のうち、再生利 用した後の残量 (t)	⑨⑦のうち、埋立 処分又は海洋投入 処分した量 (t)	⑩⑦のうち、中間 処理及び最終処分 を要した量 (t)	⑪ ①～⑩の合計	⑫ ⑪の合計										
コード	名 称																						
コード等	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間処 理せず直接再生利 用した量	①の量のうち、中間処 理せず直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間 処理した産業廃棄物の 量(中間処理料の量)	⑤の量のうち、回収 を行った量	⑥の量のうち、再生利 用を行った量の量	⑦の量のうち、自ら埋立 処分し、又は他人に 売却した量	⑧の量のうち、自ら埋立 処分及び海洋投入処分 した量	⑨の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑩の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑪の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑫の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑬の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑭の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑮の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑯の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑰の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑱の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑲の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	⑳の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	㉑の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量	㉒の量のうち、中間処理 及び最終処分を要した 量
1	1502 ①アスコン破片	900						0		900	900										0	0	
2	1501 ②コンクリート破片	267						0		267	267										0	0	
3	2200 ③管理型混合廃棄物	0						0		0	0										0	0	
4	1200 ④金属くず	0						0		0	0										0	0	
5	600 ⑤廃プラスチック	1						0		1	1										1	0	
6	800 ⑥木くず	1						0		1	1										1	0	
7	221 ⑦建設汚泥	40						0		40	40										0	0	
8	900 ⑧紙くず	0						0		0	0										0	0	
9	⑨							0		0	0										0	0	
10	⑩							0		0	0										0	0	
11	⑪							0		0	0										0	0	
12	⑫							0		0	0										0	0	
13	⑬							0		0	0										0	0	
14	⑭							0		0	0										0	0	
15	⑮							0		0	0										0	0	
16	⑯							0		0	0										0	0	
17	⑰							0		0	0										0	0	
18	⑱							0		0	0										0	0	
19	⑲							0		0	0										0	0	
20	⑳							0		0	0										0	0	
	合計	1,210	0	0	0	0	0	0	0	1,210	1,207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0

(注1) ①～⑩の合計は、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2) 上記の産業廃棄物の種類以外の排出施設があった場合は、必要に応じ、第2表も追加してください。

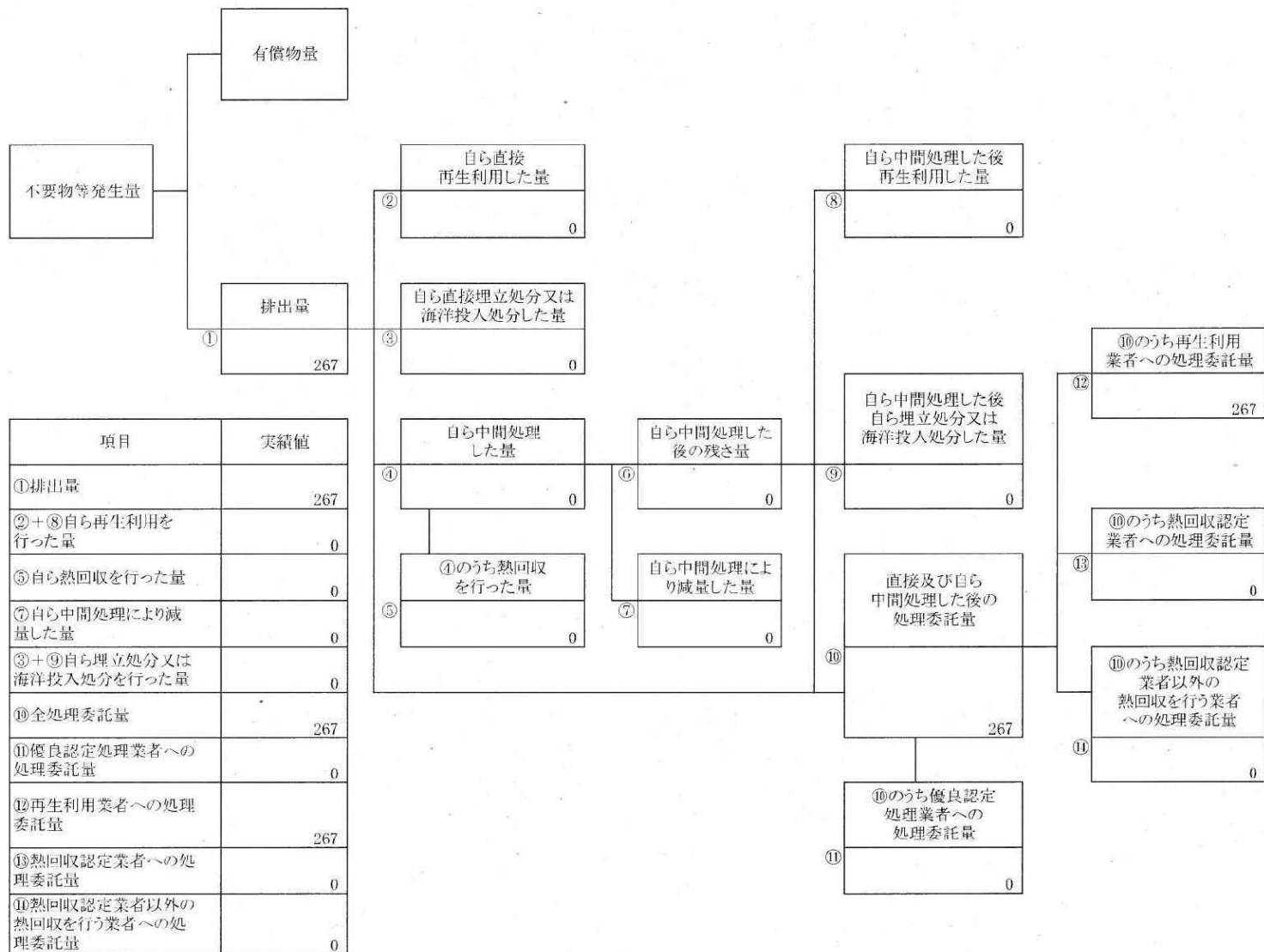
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①アスコン破片)



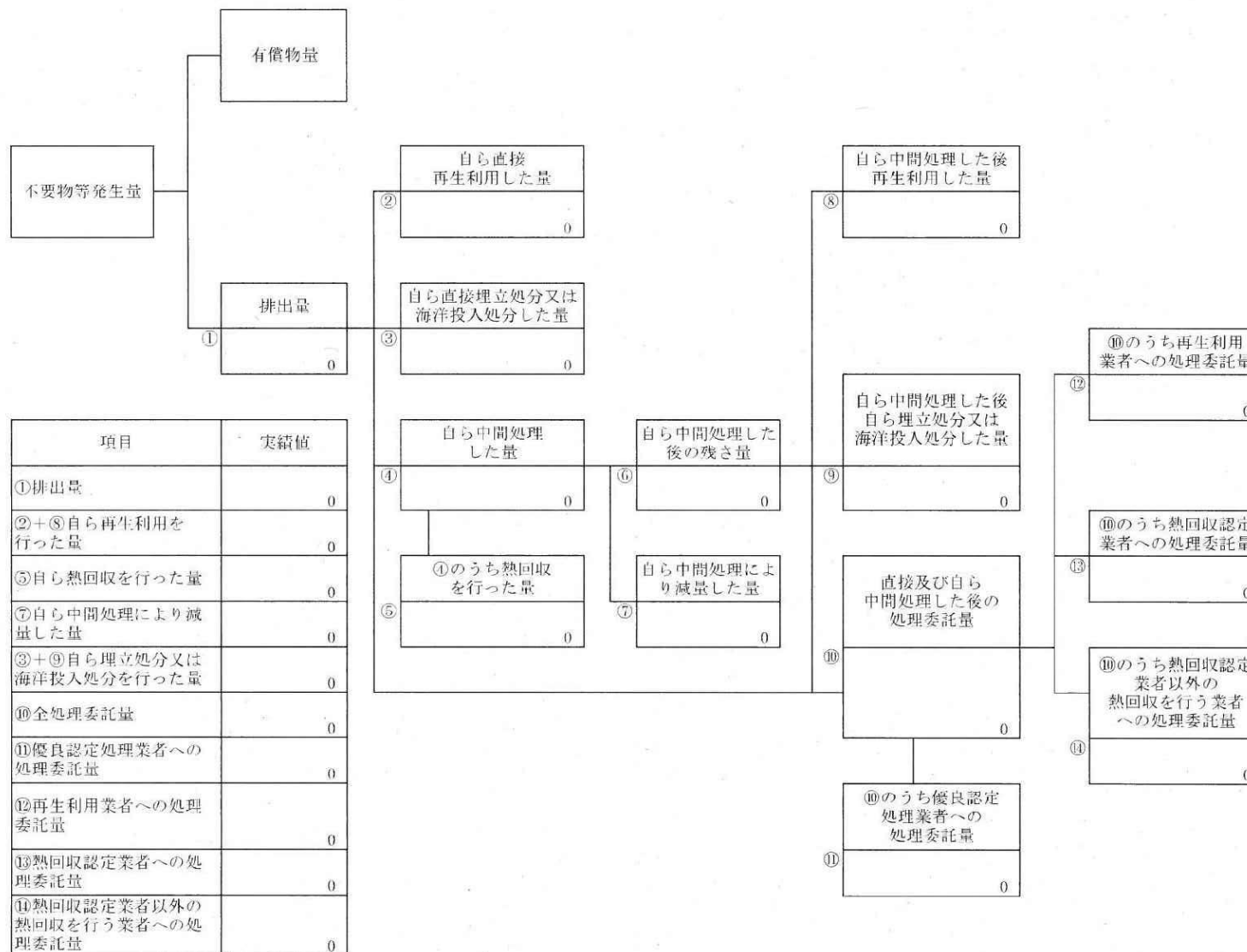
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②コンクリート破片)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④金属くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 0

自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した量
④ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

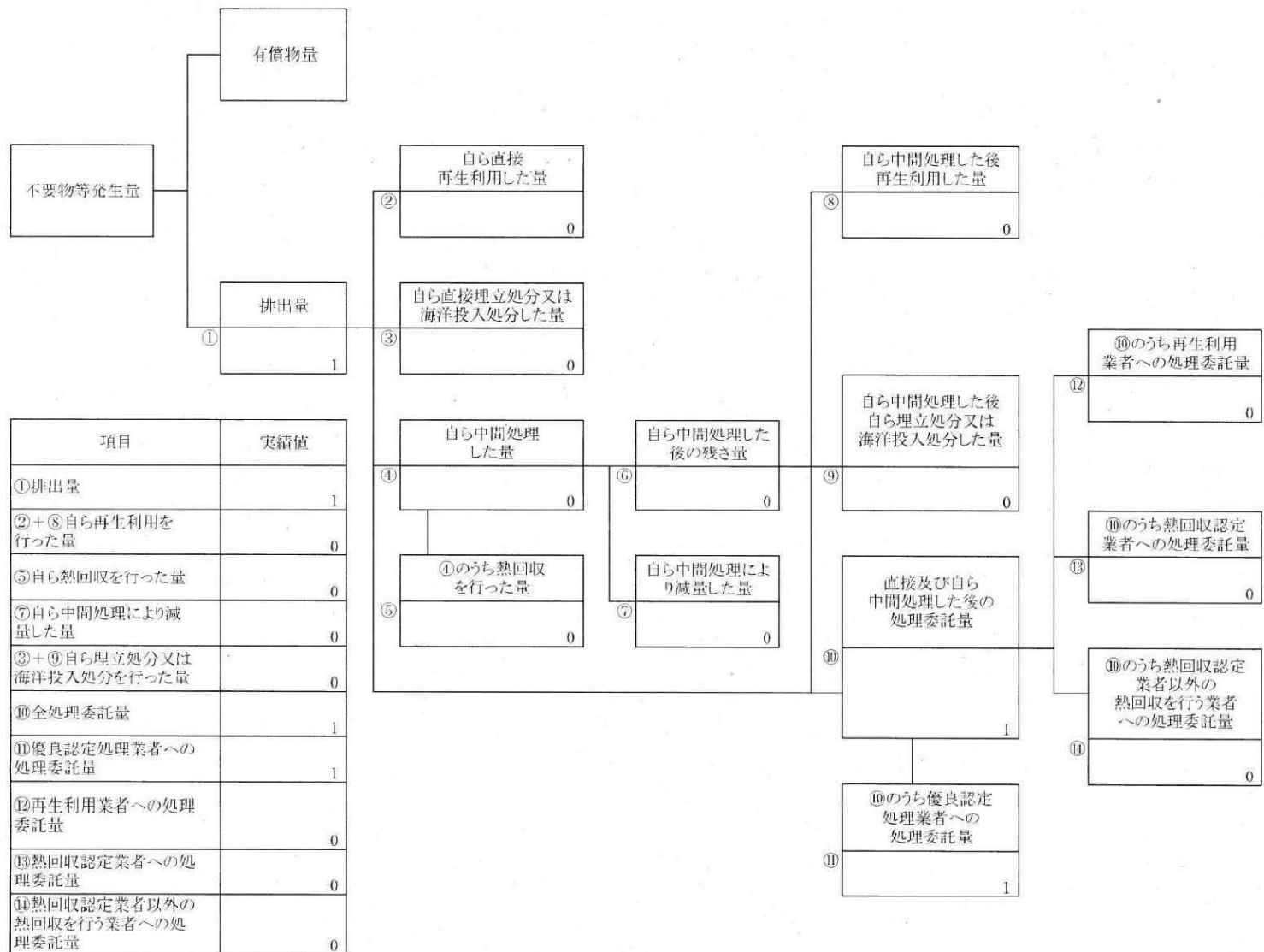
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

">

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤廃プラスチック)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥ 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

1

② 自ら直接再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

②
0

③
0

④
0

⑤
0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑧
0

⑨
0

⑥
0

⑦
0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑩
0

⑩
0

⑩
0

⑩
1

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑩
0

⑩
0

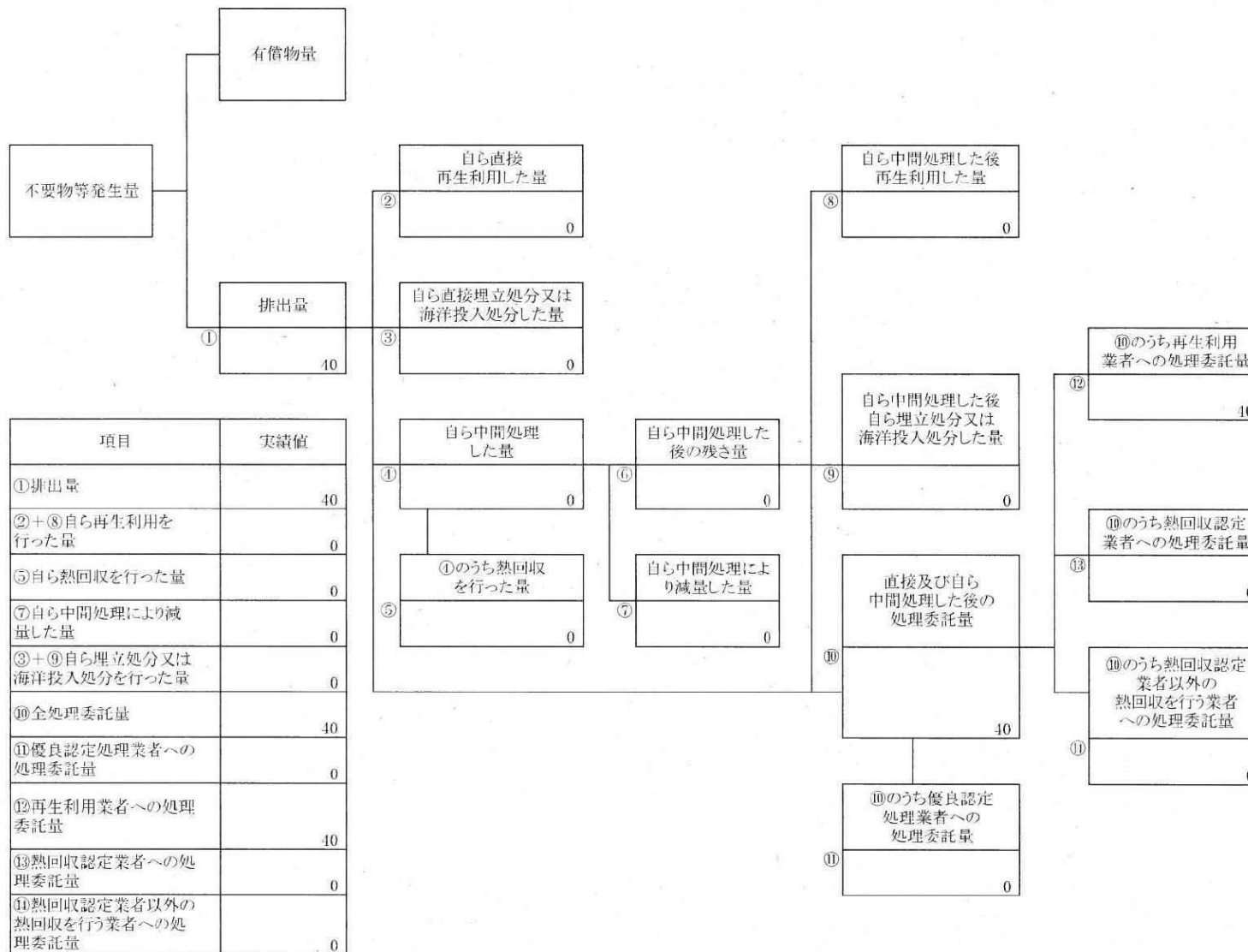
⑩
0

⑩
1

項目	実績値
①排出量	1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

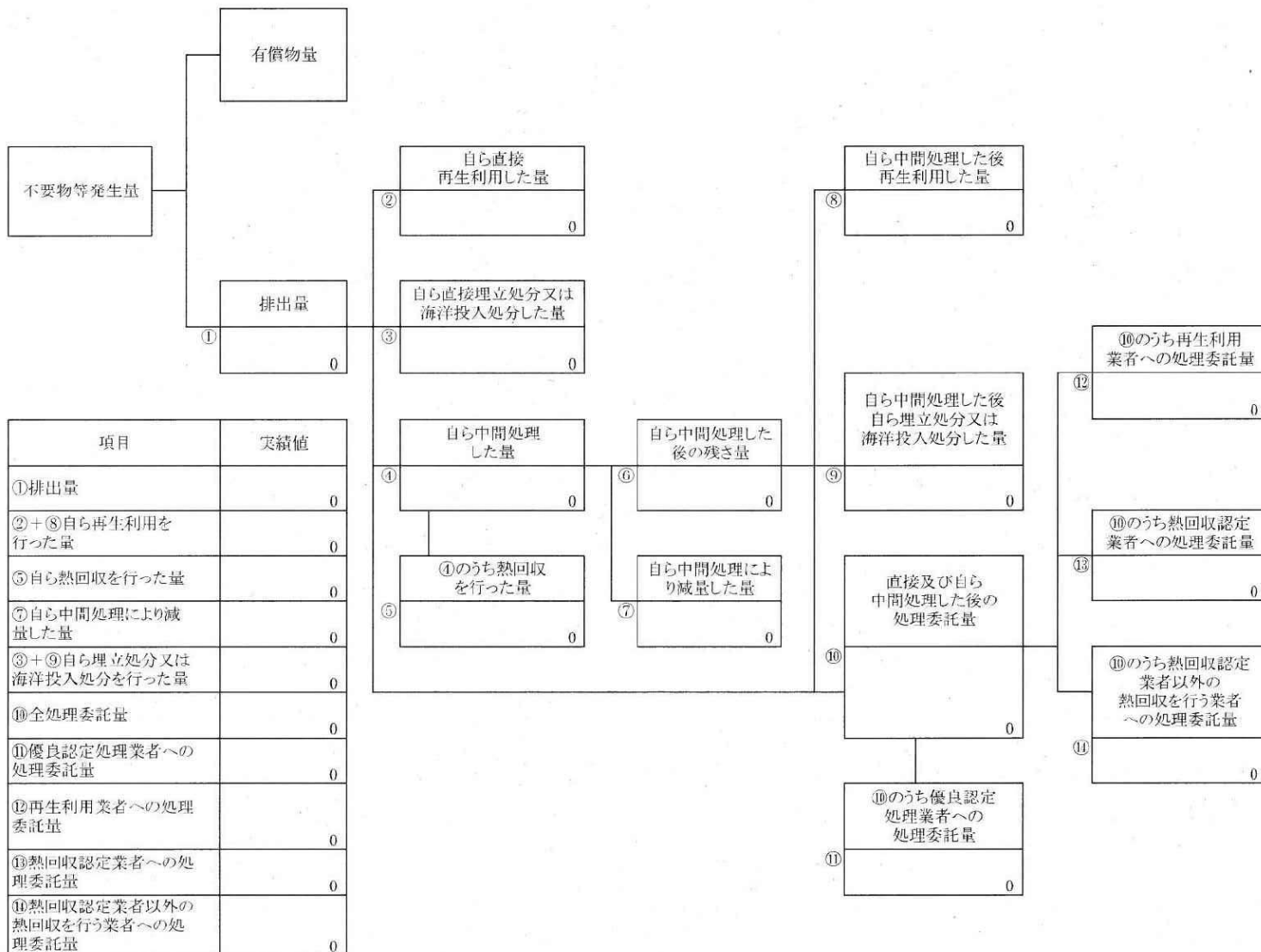
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦建設汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑧紙くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。